

日本原子力学会 倫理委員会（第 105 回）

議事要旨

1. 日 時：2018 年 8 月 6 日（月）13:30～17:30
2. 場 所：日本原子力学会事務局会議室
3. 出席者：大場委員長、三村副委員長、神谷幹事、伊藤委員、宇奈手委員、金山委員、辻委員、中野委員、中村委員、奈良林委員、福家委員、藤澤委員（委員 15 名中 12 名出席）
布目特別委員

4. 資 料：

- 倫 105-1：日本原子力学会 倫理委員会（第 104 回）議事要旨(案)
- 倫 105-2-1：企画セッションと研究会の中長期運営について
- 倫 105-2-2：倫理委員会役割分担表
- 倫 105-3：倫理委員会 2018 年秋の年会 企画セッションに係る企画・準備について（案）
- 倫 105-4：原子力学会倫理委員会主催・第 22 回倫理研究会のご案内（案）
- 倫 105-5：倫理委員会規程等の改定について
- 倫 105-6：学会誌 ATOMOS 投稿案
- 倫 105-7：第 21 回倫理研究会 議事要旨
- 倫 105-8：日本原子力学会誌 60 周年記念号執筆依頼

5. 議事概要：

- (0) 新たに委員に就任された藤澤総務担当理事からご挨拶、理事会での委員就任の経緯について紹介があった（総務担当理事の事務分担に「倫理委員会に関する事項」があることから、今回、特別委員ではなく委員としての就任となったとのこと）。

また、大場委員長から、業務等の事情により原田委員及び辻委員から退任の申し出がなされている状況について紹介があった。

(1) 前回議事録の確認

神谷幹事から資料 105-1 により前回議事要旨（案）が説明され、一部記載を適正化した上で了承された。

(2) 企画セッションと研究会の中長期運営、委員会内の役割分担について

三村副委員長から資料 105-2-1 及び 105-2-2 により倫理委員会の中長期運営計画及び委員の役割分担について説明があり、当面の活動予定等について議論を行った。

- ・秋の大会の企画セッション、次の倫理研究会での主題が研究者倫理とあるが、組織文化ないし安全文化とするのがより適切である。
- ・今後の取組みとして、規程見直しの方針検討を 11 月から開始するとしている。新しいテーマでの議論について、引き続き議論していく。
- ・2019 年春の年会での企画セッションの主担当は、原田委員から出町委員に変更することとする。

(3) 倫理委員会 2018 年秋の大会企画セッションに係る企画・準備について

伊藤委員から資料 105-3 により準備状況等について説明があり、スケジュールや委員の当日の役割分担等について確認を行った。

- ・前回 104 回で決めた特別委員への座長や開会・閉会挨拶の依頼結果、当日の委員の役割分担を確認。
- ・総合討論のときの机の配置などは、会場の状況に応じて、現地で臨機に対応する。
- ・討議テーマとして、研究開発機関、公的組織の役割、役所の視点、電力会社との違い、組織の歴史的経緯と組織文化等が出された。
- ・倫理委員会委員が率先して会場から議論に参加することとする。

(4) 第 22 回（2018 年度上期）倫理研究会について

金山委員から資料 105-4 により準備状況等について説明があり、パネルディスカッション (PD) の進め方や当日の役割分担等について確認を行った。

- ・開催日時は 9 月 21 日 13:30～、場所は東大工学部 11 号館 1 階講堂で決定。
- ・講演では、JANSI 及び電中研の有識者に原子力安全、組織文化についてお話しいただく。
- ・今回の研究会の在り方として、特に PD にて参加型の議論を重視する。パネラーにはメーカー、電気事業者の倫理委員会委員に参加いただく。
- ・開会の挨拶と倫理規程等の紹介をまとめて大場委員長が、閉会挨拶は司会の金山委員が行う。
- ・事例集は参加者に配布することはず、研究会参加費とは別に希望者に会場で販売することとする。
- ・原子力学会員へメールサービスにより案内を発信する。また、秋の大会の企画セッション会場でも案内を配布する。
- ・アンケートの所属に関する問いで、大学を教育機関、規制機関を行政機関に変更する。

(5) 倫理委員会規程等の改定について

神谷幹事から資料 105-5 により、倫理委員会規程、同運営細則の現状と改定の必要性、改定案が説明され、議論を行った。引き続き検討を進めることとし、委員長、副委員長及び幹事でも検討を行うこととした。改定箇所のポイントは以下のとおり。

- ・実態に即した条文への改定（講習会受講証明書の発行については削除等）
- ・記載の適正化、誤記修正
- ・細則への委員の責務の追記等

(6) 倫理委員会活動の原子力学会誌への投稿について

神谷幹事から資料 105-6 により、タイトル案を「原子力安全のための技術者倫理 ～倫理規程改定のポイントと倫理委員会の活動報告～」とする近年の倫理委員会活動の原子力学会誌への投稿について説明があり、以下の議論等を踏まえて、投稿に向けて進めていくこととした。

- ・2018 年倫理規程改定の経緯と内容、災害に備える技術者倫理・安全文化の 2 件の記事としていく。
- ・前者は宇奈手委員（前幹事）を主担当、三村副委員長を副担当として執筆を進め、後者は主担当を福家委員、副担当を中野委員として、金山、伊藤、中村の各委員が執筆を分担していくこととした。分量は、それぞれ 4 頁とする。

- ・原稿の完成目標は、前者は1月末、後者は4月末を目途とするが、神谷幹事が学会編集委員会への打診、調整を進めていくこととする(連続月シリーズ掲載か、同月号同時掲載かなど)。
- ・なお、内容は相互に関連するが、前者については福島第一原子力発電所事故後の活動を含めて、事例集にも言及し、後者については、9月の第22回倫理研究会までを対象として、過去の企画セッション等の記録を素材として作成し、結論のまとめ方を検討する、講演者は確実に紹介するなどとした。

(7) 原子力学会 60周年の学会誌記念号への記事の投稿について

神谷幹事から資料 105-8 により学会誌編集委員会からの寄稿依頼に係る趣旨説明が行われ、倫理委員会では2頁を1名が寄稿することとされていることもあり、大場委員長が執筆を行うこととし、その旨、大場委員長が学会事務局へ連絡することとした。

(8) 最近の品質不正問題等について

前回委員会で議論できなかった資料 104-5-1、104-5-2、104-5-3 については、時間の都合で、次回以降、引き続き議論していくこととした。

(9) 2019年春の年会での企画セッションのテーマについて

ブレinstoーミング的にテーマについて意見を出し、品質不正問題を扱うかどうかなど、今後検討を具体化していくこととした。

6. 次回等：

次回 106回と次々回 107回は以下の日程とし、場所の確保等の調整をしていくこととした。

第 106回 原子力学会 秋の大会 企画セッションの前の午前中

2018年9月7日(金) 午前中、岡山大学津島キャンパスの秋の大会会場内

第 107回 第22回倫理研究会の前の午前中

2018年9月21日(金) 午前中、東京大学本郷キャンパス内

以上